

E-Oral Presentation | 画像診断/成人先天性心疾患

## E-Oral Presentation 2 (I-EOP02)

Chair: Mitsugi Nagashima (Tokyo Women's Medical University Department of Cardiovascular Surgery)  
Fri. Jul 7, 2017 6:00 PM - 7:00 PM E-Oral Presentation Area (Exhibition and Event Hall)

6:00 PM - 7:00 PM

### [I-EOP02-03] Fontan患者での腎血流評価

○島田 衣里子, 稲井 慶, 篠原 徳子, 富松 宏文, 朴 仁三 (東京女子医科大学 循環器小児科 成人先天性心疾患病態研究部門)

Keywords: フォンタン手術, 腹部超音波検査, 腎障害

【背景】成人領域の循環器疾患では腎血流ドップラーで評価される Resistance Index(RI)や腎静脈血流(IRVF)のパターンは心不全の進行と関連があるといわれているが、Fontan手術後の成人患者ではその評価は明らかではない。【目的】Fontan患者での Doppler法を用いた腎血流評価について検討すること。【方法】2016年9月から12月に当科でカテーテル検査のために入院した16歳以上の Fontan患者の腹部 Dopplerエコー法で評価した RI・IRVFを採血項目・血行動態指標などと比較検討した。【結果】対象は19名(男性9名、女性10名)で平均 RIは  $0.64 \pm 0.08$  であつた。RI < 0.7群(6名)と RI > 0.7群(13名)で比較すると血行動態や採血項目でいずれの指標も有意差を示すものはなかつた。IRVFは continuous pattern(CP)と discontinuous pattern(DCP)を呈し、CPは8名、DCPは11名であつた。平均中心静脈圧(CP:  $12.6 \pm 2.5$  mmHg; DCP:  $12.1 \pm 2.5$  mmHg)・心係数(CP:  $2.2 \pm 0.5$  l/min/m<sup>2</sup>; DCP:  $2.2 \pm 0.5$  l/min/m<sup>2</sup>)・肺血管抵抗(CP:  $1.6 \pm 0.7$  unit/m<sup>2</sup>; DCP:  $1.5 \pm 0.6$  unit/m<sup>2</sup>)は CP群と DCP群に有意差はなく、推定糸球体濾過量で有意差がみられた(CP:  $101.6 \pm 31.3$  ml/mim/1.73m<sup>2</sup>; DCP:  $90.5 \pm 3.7$  ml/mim/1.73m<sup>2</sup>; p < 0.05)。【結論】Fontan手術後の成人患者では RIよりも IRVFのほうが腎障害の程度の指標となる可能性がある。